

大成小学校は、弘前市教育委員会から「教育自立圏」調査研究校に指定されました（第三中学校区を単位として）。今年度と来年度の2年間で、「教育自立圏」の中核である『小中一貫教育システム』と『コミュニティ・スクール』の導入に向けての調査研究をします。その成果をもとに平成30年度から弘前市内すべての小・中学校が、「教育自立圏」を構築することになります。

今年度は、学校評議員の方々と連携しながら設立推進委員会を立ち上げ、調査研究を進めていきます。今後、保護者や地域の皆様に、『小中一貫教育システム』と『コミュニティ・スクール』とは何なのか、学校がどう変わっていくのか等、「大成コミュニティ・スクール通信」を通してお伝えしていきたいと思えます。

## 第1回設立推進委員会が開催されました

9月5日（月）に第1回設立推進委員会が開催されました。平成29年4月のコミュニティ・スクール開設に向けて準備を加速させていくことを確認しました。

### 【今後の主な検討事項】

- ① 学校運営協議会の仕組みづくり（基本方針、組織、活動計画等）
- ② 地域コーディネーターの選出、学校応援団の募集



### ◇大成小学校コミュニティ・スクール設立推進委員会のメンバー（敬称略）◇

1 森内 秀次（二大地区町会連合会会長）	5 佐藤 昭（学校・校長）
2 宮川 克己（下土手町商店街振興組合事務局）	6 成田 満（学校・教頭）
3 一戸 雅子（大成小学校PTA元副会長）	7 猪股 健（学校・教務主任）
4 棟方 成人（大成小学校PTA会長）	

## 学校×地域の協働

### コミュニティ・スクールって、なあに？

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆様がともに知恵と力を出し合い、一緒に子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

地域に開かれ、地域に支えられた、信頼される学校づくりを進めようとするものです。



読み聞かせボランティア「しあわせのたね」

### コミュニティ・スクールって、具体的には何をするの？

保護者や地域住民の代表から構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について協議したり、学校運営について一定の権限と責任をもちます。

学校運営に保護者・地域の皆様の力をお貸しください！

### 《学校運営への参画（協議）》

コミュニティ・スクールは「熟議」と「協働」を通して、保護者や地域の皆様が責任と権限をもって学校運営に参画できます。



### 《教育活動への参画（支援）》

コミュニティ・スクールでは、保護者・地域人材による学習ボランティアが教育活動を支えます。

# 郷土を誇り、夢を育む「教育自立圏」

～「オール弘前」で9年間の一貫した学びを支える～

## 1 基本方針（「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」から）

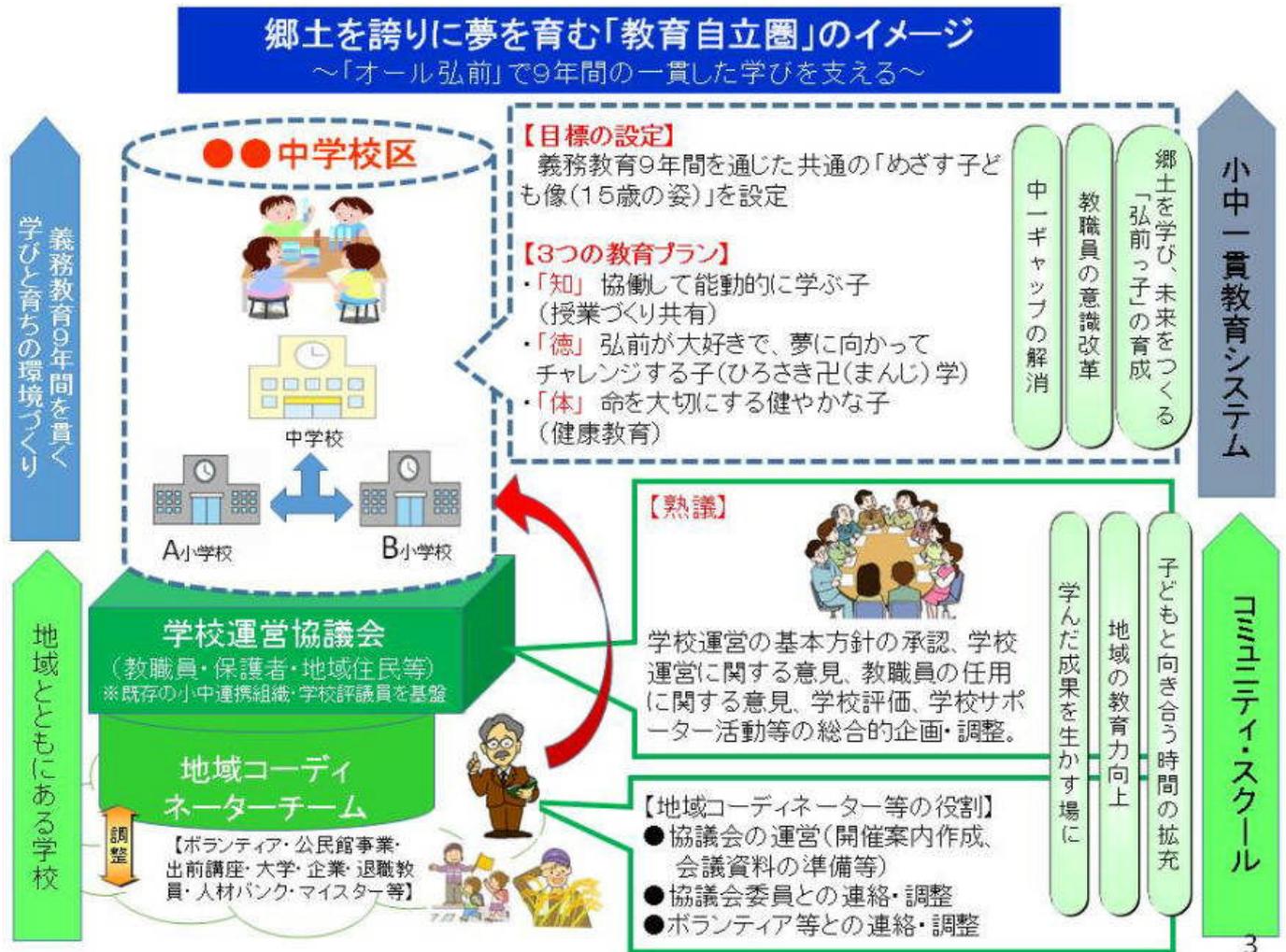
### 夢を育む独自の教育自立圏（中学校区）を形成します。

子どもたちが夢や希望に向かって主体的に一貫して学び続けられるように、中学校区を基盤とした教育自立圏を構築します。

教育自立圏においては、「義務教育9年間を貫く“学びと育ち”の環境づくり」と「地域とともにある学校」の実現に向けて、郷土の歴史や文化・風土など独自の教育風土や教育資源を生かしながら自立的で持続可能な学校づくりを推進します。そのため、教育自立圏内の教育機能の強化に向けて、『小中一貫教育システム』や『学校支援システムを含むコミュニティ・スクール』の構築を図ります。

また、子どもたちが自己実現に向かう中で、お互いに尊重し合い、意欲的に学ぶことができるように、インクルーシブ教育やキャリア教育を一層充実させ、ICTの積極的な活用を図っていきます。

## 2 教育自立圏のイメージ図



## 3 教育自立圏を構成する2つの柱

構成項目	目的
1 小中一貫教育システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9年間を系統的かつ継続的な教育により、「中1ギャップ」を緩和する。</li> <li>・ 育てたい児童・生徒像を共有することで、教員相互の連携を活性化し、教職員の意識改革と指導力の向上を図る。(知・徳・体)</li> <li>・ 義務教育9年間を一貫した教育で、郷土に学び、未来をつくる「弘前っ子」を育成する。</li> </ul>
2 コミュニティ・スクール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民の学校運営への参画を通して、当事者意識や地域の教育力を高める。</li> <li>・ 保護者・地域と学校の相互理解を図り、学校と地域の連携・協力を強化する。</li> </ul>
学校支援システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生の子どもと向き合う時間を確保するとともに、地域への理解を深める。</li> <li>・ 豊かな体験活動や地域への関心を高める。</li> <li>・ ボランティアを通して、地域の方が生き甲斐を感じる拠り所となる。</li> </ul>